

L. 学校選択制についてどう思いますか？

理由をお聞かせ下さい

- ・人気の学校にかたよる（40代 女性）
- ・何が焦点を充てているのでしょうか？行政？個人？個人的な面で言えば、すでに個人で対応されている保護者もおられますが。（40代 女性）
- ・学校運営に競争原理が持ちこまれるため、教員にも緊張感が出る。反対するなら、なあなあにならない運営方法を考え出してからにしてください。確かに地域のつながりの問題はありますが。（40代 男性）
- ・希望の学校に行かせたい（80代 男性）
- ・学校間格差が一定程度以下にすべき。本来格差ができる筈はない。（60代 男性）
- ・ひっこししても学校を選択すれば、同じ学校に行けるから。（10代 女性）
- ・地域の、心の、つながりがとぎれるから。その地域でつながり、次の国体につながるべきです。（60代 女性）
- ・教育の自由面からはプラス（70代 男性）
- ・感覚的に「何が変」と感じる。ある学校に欠点があるなら、それを直接話さずに、子供を減らすという、いやみな方法で「思いしらせてやる」という、いやーな感じがする、インフラにしても、各校で差が出ないようにするのが行政の仕事で、設備の良い学校に子供が集まってよかったよかった、では何も解決しない。（50代 男性）
- ・学校にかたよりが生ずる、選択させるのではなく、高い所に、低い所は努力して集めるべきだ。（80代 男性）
- ・学校の設備、環境だけで入学を決めていると思われる、教育の内容が部外者でもある程度判るようにして欲しい（80代 男性）
- ・地域のコミュニケーションに良くないと思う、また、学校の優劣を競わされるようなこともよくないのではないか。（70代 男性）
- ・仕組みが良くわからない（70代 女性）
- ・学校格差は必要ないと思う（70代 女性）
- ・自由を束縛しない事が子供の将来には必要（70代 男性）
- ・親のわがままに見えます。（思う）近くに学校があるのに、わざわざ選んで、遠くの区内学校に通うなんて、将来がこわいです。（70代）
- ・どのような仕組みが学校選択制なのか分からない。（80代 女性）
- ・地域の連帯が無くすから（60代 男性）
- ・自由に選択できた方が良い（70代 男性）
- ・選べる事が良い（男性）
- ・自由を確保（50代 女性）
- ・教師が努力するように守る（50代 女性）
- ・学校も民間同様に選ばれている意識を持つ必要がある（40代）
- ・学校間の格差のため、由緒ある小学校が無くなったり、無くなろうとしています、学校と地域のつながりを無くすような制度には反対です。（70代 男性）
- ・ブロック制でもいいから、“良い学校”を選べるようにしてほしい。（40代 男性）
- ・税金で行かせてもらっているのだから、あれこれ言わずに地元の学校へ行くべき。イヤなら私立へ。（40代 女性）
- ・義務教育段階では、競争が激しくならないよう。（80代 男性）

- ・個人の成長をのばすのに良いとおもいます (70代)
- ・自己責任での選択も良いが、子供が選択している訳ではない、地域コミュニティを大切にする教育も大切であり、その中で平等ばかり求めず競争社会の厳しさも必要、教育者 (先生のみならず) のレベルアップを図るべき (70代 男性)
- ・よく知りません。勉強します。
- ・自由であるべき。(40代 女性)
- ・近所の連帯がなくなってしまう防災上問題 (60代 男性)
- ・子供がいないのでわかりません。いじめとかある時に、いじめっこと違い学校に行ければ、不登校もなくなるのではないのでしょうか。(40代 女性)
- ・公立の学校は、どの学校でも内容は同じと考えます。学区の内で通えばいいと思う。(50代女)
- ・個々の志望、希望等を充たす為にも。(80代 男性)
- ・生徒、保護者にはどの学校が適しているか、真剣に考慮する機会となり、学校側には、特色を生み出し、欠点を埋める機会によると思います。(30代 女性)
- ・地域中心に考えるべき、災害等のとき、地域の中の学校の方が連絡をとりやすい (70代 女性)
- ・品川・大田区境の近隣の学校に入れると良いのですが、いかがでしょうか? (50代 女性)
- ・選ばれない学校は、先生や校長のせいにするのは、たやすいけれど、本当のところ、自分達の都合の良い先生、イエスマンを育成しているとしたか思えない (60代 男性)
- ・ある程度の競争は必要だと思うが、それを行うことで教育の質が下がるのではないか不安。(20代 女性)
- ・義務教育中は地域の学校に通う。学校が地域の核になる。放課後も生徒間の繋りを容易にする。インクルーシブ教育を行い、ノーマライゼーションの社会を作るには選択制では無理。災害時には健全者と障害者間のバリアフリー化を進めないと生活弱者は尚弱者となって孤立する。(70代男性)
- ・子供は自由に (70代 女性)
- ・学校によって、又特色があるからです。(80代 男性)
- ・学校選択制という制度があるのを始めて知った。内容が分からない。(30代 女性)
- ・学区校になじめない場合など、選択の自由は必要。(40代 男性)
- ・より子供にあった学校に行けそうな気がする。(60代 女性)
- ・レベル似合わせた教育が必要であり、ムリに押し付けてもムダになるだけで本人のためにならない・レベルによっては、技術を取り入れることも、検討する必要がある・大子も全員どこかに入れる、時代であり、ムダ・ムリをなくし、実銭的なものに方針転換が必要である。(なし)
- ・私学と公立との教育者の意見を聞きたい。単に私立に対抗するためなら問題 (70代 男性)
- ・災害があった時その子はどうなる、平等の教育が行われるべき (40代 女性)
- ・優勝劣敗の社会原則を知らすべきだ。世の原則の適用については教育現場として例外では無い、特にこの問題を教職者の労働問題として議論することには反対(しな流し議論等) (60代 男性)
- ・いじめが辛い人には少なからず助けになる、・ただ、人数のばらつきが出るのは良いと思えないが (50代 女性)
- ・そのために不人気な学校が出て仕方がないと思う (70代 女性)
- ・学校に個性をつくりやすい (80代 男性)
- ・学校選択制ですと人気のある学校、そうでない学校の差が出て、学童が不足して学校も、苦しい選択をすることになる、ただでさえ子供が減少している (60代 男性)
- ・先生も努力すべき。ただし、一クラスのみ学校などは廃止して、コストについてもよく考えるべき。(30代 女性)

- ・自由に考え選ばせるべき。(50代 女性)
 - ・地域の方々との共通性が失われ、家庭教師や塾に熱中する人がいる。子どもの時の協調性、思いやりや、目上の方々への敬愛の芽生えが欠けてしまう。今でもないのにこれ以上ないと自分だけがよければという近頃の若者の心情が更に悪くなる。(70代 男性)
 - ・地域を大切にしない。選択の意味もわからず、児童が多いからの理由が第一になっている。他によさもわからずに選んでいる。(40代 女性)
 - ・判断できる材料を持ち合わせていません。(80代 女性)
 - ・人間関係が複雑になり選択が必要な人もいる。基本的には、選択制は良くない。例外は措置も必要。(60代 男性)
 - ・自由競争。優秀な人材を重点に育成すべき。その上で平等や安らぎや負担軽減を考える。(70代 男性)
 - ・ほんの少しの距離で区域以外の学校の抽選に落ちてしまったりバス通学してまで通っている子供がいたり、どうなのかと思うことがあります。(30代 女性)
 - ・イジメは無くならないから転校が楽にできると子どもの心を守れる手段の一つとなるから。(50代 女性)
 - ・親でなくあくまで本人の選択で。(60代 男性)
 - ・その後、「国旗を校庭で焼く」「国政を斉唱(まあ好きずきですが)しない」バカ教師はいますか？(子供達が言っています)日教組は全労連ではないはずですが。(連合集) (50代 男性)
 - ・いろいろ選べる事ができるのは良いことです。(70代 男性)
 - ・自宅の近くの学校に行け。(70代 男性)
 - ・功罪両面である。(50代 女性)
 - ・新しく出来た学校は最近の教育に相応しい教育方針やそれに対する機能等兼ね備えている。だが、そうでない学校は在る物で賄う方針も捨ててない。最近の親はその点、敏感である。ゆえに新学校に足が向き一定の学校に集中する。(60代 女性)
 - ・公立学校は全て公正公平であるべき。選ばせる事がそのまま格差につながるのには目に見えている。どの学校に行っても全て安心できる均一の教育が本来的に望まれると思う。(60代 男性)
 - ・学校側も協力すべき。(40代 女性)
 - ・いじめなどがあれば転校できた方がいいが遠くに通うと地域とのつながりがなくなるのでどうかとも思う。(30代 女性)
- 学校の校長の良し悪しで子どもの人生は大きく変わる。だから選びたい。(40代 女性)
- ・良いといわれるがっこうのみ生徒が集まりあまり試用版の良しない学校へは生徒が集まらずこのままではいけば生徒の集まらない学校が出来る。(80代 男性)
 - ・自由に遊べるのは良いのですが、子どもの片寄りがありすぎて閉校になる学校が多くなりどちらが良いかよくわかりません。(50代 女性)
 - ・学校や先生の話聞いて選ぶこと。子供にとっては大事だと思う。(60代 女性)
 - ・子どもの特性に合致した専門学校、或いは人物である。教師は自由に選んで良いのでは画一的な教育は如何かなと思う。(60代 男性)
 - ・地域の学校でいろんな職種の家庭の子同士がつきあえることは大事なことでないでしょうか。(50代 男性)
 - ・どちらでも良い。(30代 女性)
 - ・①近くの学校に行くのがベター。②校長も移動するので、その都度校風も変わるのでは。(60

代 男性)

・地域活動が出来なくなる。学校の格差ができ、区立なのに小さいから、遠くから通うようになるのはどうかと思う。

・出来るのはいいけれど、でも選ばれる人数が少なく少人数になってしまったらその学校はどうなってしまうのか心配です。(50代 女性)

・地域で決まった所に行くのが友達と遊んだりする面でいいと思うし、片寄りが起きると思う。実際起きているし。(40代 女性)

・学校選択制にすると良い所に集まってしまう。全体にもっとレベルアップしてほしい。(70代 女性)

・選べることは賛成である。子どもが広い視野で選べることはよいこととあります(40代 男性)

・能力に応じて自由に選択できることが望ましいし学問の自由に通じるものと考えます。(60代 男性)

・可能であれば・・・。一校集中は出来ることなら避けたいが。(70代 男性)

いい面もあると思いますが人口減の中で地域のためにどう対策を講じていくか大切だと思います。教育機関を選べることも良いことだと思います。地域復興、少子化対策、もう何十年も前から言われていることで今さら。自民にも責任あり。共産党野党の頑張りに期待する。大臣のコロコロ、腰掛最低五年続くよう。そんなことを思いながら・・・政治の行動を眺めています。(70代 男性)

・一部の学校に人が増加する。(60代 男性)

・本来あるべき姿に戻すべき。ただし現状の一部の教育者の程度の低さ(無能力な教師)は即刻首にして入れ替える事が先決条件。(60代 男性)

・風評被害を起こしやすい。公立小学校から良い学校、悪い学校を決め付けるには早すぎる、そうでなくても日本の政代社会は格差社会、差別社会と言われているのに、少なくとも小学校ぐらいは平等にしたいから。(40代 男性)

・地域の崩壊。近所の子どもが違う学校へ通うのは友情すら壊す。親同士も仲が悪くなる。(80代 女性)

・学校間の競争は無意味。教員の仕事は子どもに確かな学力を身につけさせること。そのための準備の時間を保障すべきで書類作りの仕事は不要。(60代 女性)

・近くにあまり良くない学校があったとすると親としては選択制があった方がいいと思うが人数がかたよりすぎて、グラフ活動も出来ない学校がありどうかな?と思います。(60代 女性)

・無気力な先生が多くては困る。(80代 男性)

・全ての選択制がOKとは言いがたい。学校区、地元優先とし+αの部分を選択制としたら良い。学校別の特長、優位点等PRが必要。また先生の能力UP、学校別の教育能力の平準化が必要。(50代 男性)

・一ヶ所に集中してしまい片寄りができて閉鎖になる学校が出来てしまう様に思います。(60代女性)

・特に小学校は以前のように近くの学校へ入るのが親にとっても、交友関係も保たれ、安全であり自然であります。(80代 男性)

・地いきの学校に行く事が良いです。家族の者も安心です。(70代 女性)

・親のエゴ、見栄、体裁にしか思えない似た様な話は昔からあった。どうしてもと云うならレベルの高い私学へ行かせれば良い。先生のグレードも問われているかもしれない。(60代 男性)

・自分が勉強したい学校に通うことが本人の為になる。(70代 男性)

・やはり賛成です。それぞれ事情に合わせて行ける学校があるといいと思います。(60代 女性)

- ・それぞれの学校に特徴を持たせ（体育系、文化系活動など）、自分に合った学校を選ぶと良い。最近、倍率の高い学校と、定員に満たない学校と差が開いて問題になっているようですが、特徴を生かした学校にするよう、常に検討する必要あるでしょう。（60代 女性）
- ・地元の学校へ通うから地区への愛情が生まれるのです。（80代 女性）
- ・功罪、弊害色々あると思うから、長所、短所はあると思う。試行さく誤、研究課題、結論だすのに時間はかかる。（70代 男性）
- ・地域の子たちと、いろんな子がいる中で育っていくのがいいのかな、と思うから・（20代 女性）
- ・⇒学校の質の向上につながる。学校の評判により生徒数が増減する。その為⇒（50代 男性）
- ・子供が無いので分からない。（80代 女性）
- ・遠くの学校に時間をかけて通うことはコミュニティーの形成から言ってもマイナスがある。（70代 男性）
- ・何を目指して区が学校選択制にしているかわからない。子供の将来のために教育をしているなら、現場の先生が子供の知的好奇心を満たすように導くためのグループで勉強会をした方がいいと思う。深い知識をやさしい言葉で説明できる先生と、そうでない先生と、バラつきがあるのを感じたので。（40代女性）
- ・自由度があっていいと思う。（40代 女性）
- ・おかしい教員が多いため、淘汰される仕組みとしての競争は必要。（30代 男性）
- ・一部の学校に集まりすぎる。（50代 男性）
- ・公立の学校も切磋琢磨して欲しい。（50代 男性）
- ・若月さんにはお世話になっていますが、この「選択制」だけは賛成できません。地域社会と子供たちの関係が希薄になる。学校間の格差が広がるなど、メリットは少ないと思います。（50代 男性）
- ・地域性がなくなる。偏重による地域格差が生ずる。教育的だろうか。地域との密着度が希薄になる。（80代 男性）
- ・独自色のある学校が1，2校ありますが、あとは教育委員会の機嫌の良い方向の学校ばかりのように感じます。独自色のある学校が増える事を願っております。（70代 男性）
- ・放課後などに一緒に遊べる、地元の子が少ない。やはりつきあいの第一歩は、近所の距離感が大切で離れていては希薄となってしまふ。（50代 男性）
- ・自分達の小さい頃は選択制ではなかったのであまりピンとこないがどちらともいえない。（60代 男性）
- ・競争ばかりが奨励される。学校格差がおこる。地域の絆がなくなる。地域のコミュニケーションの崩壊。少人数校では部活ができない。学校行事に影響する。（60代 女性）
- ・考え方がみみっちい。（50代 男性）
- ・本人の為になる。（80代 男性）
- ・地域性が失われ、つながりが薄くなるから、反対です。実際、我が家は、選択制により、長男の通う小学校と、次男、三男が通う小学校が分かれました。（40代 女性）
- ・小学校入学前のお母さんたちが必死になっているのを見て、あまりよい気持ちがしませんでした。学校を選ぶというのはよいようですが、学校を学力で比べるところがあり、子供たちもそういう見方をもってしまいそうで嫌です。（30代 女性）
- ・地域の学校に行くのが一番いい。学校どおし、ムダな、方向ちがいの競争になる。「成果？」を学校や教師の評価に加えるのは、もつての他。（60代 男性）
- ・子供がいないので。（30代 女性）

- ・公務員が互いに競い合うのは良い事。校長自らが行動しようとする姿に最近感動しました！！(30代 男性)
- ・学校選択制＝学校が選択される→より選択されるために学校の教育等をはっきり示すようになる。(60代 女性)
- ・自由意思に基づく。人気校と不人気校が判り、各校の特色をより出せる。(30代 女性)
- ・大規模、小規模、制服 etc 子供に合った学校を選べるので。(40代 女性)
- ・地域の子がばらばらになる。(60代 男性)
- ・選択制は子ども達に格差を生みだす。子どもが選別される。親も子も差別される。いい事なんて1つもありません。みんなを平等に扱うべきだと思います。先生を増やして、1人1人の子どもに合った教育を徹底するのがいいと思います。(60代 女性)
- ・毎日の通学に長時間かかっても、自分が行きたい学校に行けるのが、一番よい事だと思います。(70代 女性)
- ・近い学校があるのに遠くへ行かなくてはならないので、近い方がいいとは思いますが、自由になると、住所とか違う人となってしまうのもどうかと思います。(60代 女性)
- ・子供の個性に合った学校を選べるから。(40代 女性)
- ・学校は地域と一体となって、はじめて安心して通学させられると思います。すこやかな成長をみまわれます。子供の能力は多種多様であり、画一化されるべきではありません。(60代男性)
- ・住民がどこまで理解して選択しているのか・・・。(年齢性別不明)
- ・戦後の日本は門地や出自に関係なく本人の努力次第で功成り財も残せる競争社会でした。それは又学歴社会でもありました。多くの方がいい学校いい会社。そしてその中での高い地位を目指しました。学歴社会の出発点は義務教育です。子供にいい教育を、非行のない学校にそういう親の思いが学校選択制を生み育てていると思います。(年齢性別不明)
- ・地域の催し物に子供達が来ない。住んでいる地域と学校のある地域がイコールではないので。結局は風評で、人気は偏る。その為、他地域の友人と放課後遊ぶことになり、安全の確保が難しくなる。(30代 女性)
- ・学校間の競争があっていい。(60代 女性)
- ・やりたい事が出来る能力を伸ばしてやれるよう。(60代 女性)
- ・身近に児童に当たる孫がいらないから。ただし、ニュースをきく限りではm地域の絆が築かれにくい状況にあるのではと、個人的にも推測します。(70代 女性)
- ・教育者側にプライドをもって仕事をしてもらいたい。(20代 男性)
- ・地域とのつながりがなくなる。子供もふりまわされてます。「子供が選んだから」とか無責任な親が、子供の友達つながりで学校を選んだりするのを見るにつけ、良くないと感じていました。(50代 女性)
- ・いいんじゃないかな。ついでに先生も選択できればなおいい。自分達の地元と別の所で、世界観広がるんじゃない？(30代 女性)
- ・目的がよくわからないため。(50代 女性)
- ・好きな所に通うのも良いが、家の近くでお友達をつくっていくのもよいのではと思うので、わからない。(40代 女性)
- ・学校同士の競争により、教育や講師の質を高める事が出来る。(60代 男性)
- ・よくわかりませんが、自分の好きな学校に行かれてよいか！と考えたり致します。(70代男性)
- ・人気のある学校ばかり集中して来るので、少ない人数の学校は気のどく・・・。(30代 女性)

- ・ 集団生活を学ぶ所。いじめをなくすにも、教育、家庭が教える事が大事。時と場合による。(30代 女性)
- ・ いじめ問題もあるため、学校選択制でよいと思う。(30代 女性)
- ・ 良くない学校がとうたされるべき。(80代 男性)
- ・ 消極的賛成。(70代 男性)
- ・ 意見無し。(30代 男性)
- ・ もちろん無条件にというわけではないが、何事にも選択肢がないのは窮屈だ。希望する生徒が少ないというのは何らかの問題点があるからだろう。平等に・・・という考え方であてがいぶちになるのは悪平等である。(70代 男性)
- ・ 現在着手したばかりでももう少し長い目で見ないと可否は云えない。但し、失敗した場合、これを推進した者には重い責任を課すべきであろう。(70代 男性)
- ・ 児童の片寄りが有り、個々の学校のレベルに差がつき全体のバランスがとれない。教師の教育指導能力にも片寄りが現実に見られる。(60代 男性)
- ・ 選択は子供にとってふかいせんぱんやめてもいいとおもう。(60代 男性)
- ・ 好きなどころに行って好きに勉強させることは大切と思う。ただし親の見識もうたがうような時代でもある。子供の交通安全、誘拐等も考えると近いと云うことは良いと思う。(70代 女性)
- ・ 自分達(子供や親に)に合っていると思われる学校を選択できれば良いと思うので。(60代女性)
- ・ 自由に自己に合った学校を選択出来る、又、人気取りの声もありますが学校もマンネル、ご都合主義から脱皮出来、学校同志がそれぞれ、切磋琢磨し合うのは必要かと思う。(60代 女性)
- ・ かんがえていない。(60代 男性)
- ・ 教育の選択は自由であればあるほどいいと思います。(50代 男性)
- ・ 自由に自分の方針によって選択すればよいと思う。(80代 女性)
- ・ 公立高校進学への、一定の結果が特定の小中学校で今年度より見られた。授業料の安い有名公立高校へ進学できれば、親の経済的負担は軽くなる(私立中学へ進ませる必要もなくなる。)(30代 女性)
- ・ 人間関係のトラブルから避ける為。(50代 男性)
- ・ 自分には子供がいないので、よくはわからないが、選択の自由はあってよいと思う。(50代女性)
- ・ 偏りがあると思う。(40代 女性)
- ・ 学区を越えて通学時間を長くしたり、近所の友だちと離すことに何の意味があるのか？地元でのコミュニティを大切にすることが、将来にわたって地域のつながりを強くするのでは？学力を上げたいのなら家庭教育でいくらでもどうにでもなる。学校に依存する考え方が理解不能。(30代 女性)
- ・ 小学校入学の時は親が決めると思います(先生の好ききらいとか。)1校にかたよってしまう。(50代 女性)
- ・ 選択制で自分(親)の希望で学校が選べるのは、いいと思います。(30代 女性)
- ・ 若者にこそ選択の自由を与えてほしい。(30代 女性)
- ・ 日本の教育制度下で子供を育てる気はない。アメリカンスクール、海外留学。(40代 男性)
- ・ プライドが持てる(入学した学校に)。(60代 男性)
- ・ 義務教育であり機会均等を保つ為。(60代 男性)
- ・ わけがわからない。(40代 男性)

- ・地いきの子供達が仲良く遊ぶ事が出来なくなる。(70代 男性)
- ・ある程度の競争はあった方がよいと思う。(50代 男性)
- ・やはり学校は一つ一つ違うので選べた方がよい。(40代 女性)
- ・選択する方(保護者)もされる方(学校)も意識と責任感が高まる。少子化のため小中共、クラブ活動等すべての学校で同様の体制バリエーションをそろえるのは不可能。学校ごとに特色を強化していくことができるから。(40代 女性)
- ・地域の子供どうしの交流がなくなる。(70代 女性)
- ・学校間格差があるため。(50代 女性)
- ・行きたいと思う学校に行ける選択があって良いと思います。(60代 女性)
- ・義務教育は何のためにあるのか。根本的に考える時だ。楽しい幼少期を過ごすためにあるのか。人材育成の基礎を作るためにあるのか。よく考えてほしい。(70代 男性)
- ・うまく機能すれば、の話。選ぶ側が適当な理由で選んでいる現行では、デメリットも多い気がする。(30代 女性)
- ・地域と学校の結びつきが、弱くなる。(60代 男性)
- ・基本的に賛成だが、格差が付くことは事実。底辺校と言われるところに行く人達をどの様に指導していくかは、先生達に相当の専門性が求められる。(50代 男性)
- ・学校間の競争が促され教育サービスの質が向上すると思う。(20代 男性)
- ・学校の特色などに拘る場合は私立へ入学させればよく、区立に入学させるのであれば、同地域の子ども同士と一緒に通学する方が通学時や放課後も交流する機会も多く友達も出来やすく親同士が顔も知らないなどと言うことが少なくなると思う。今は子どもの居ない家の人や近所の子どもが通っている学校も全く知らず、防犯的にも近所の人間が協力しづらい気がする。(40代 女性)
- ・日教組の強い学校にいかせたくない。(20代 男性)
- ・わからない。(71歳 夫婦)
- ・特に公立校の先生に不満あり。土曜日、夏休みも授業して学校の価値を上げればよい。(40代 男性)
- ・家の教育方針で学校選択をしていることなので子どもも納得済みなので特に問題はないと思いますが・・・。(40代 女性)
- ・ダメな学校には誰でも行きたくないので。(40代 男性)
- ・地域のつながりを弱めるというデメリットの方が大きいことが明らかになりつつあるから。(40代 男性)
- ・公立学校の意味がなくなってしまう。平等ではなくなるのではないか。また、小さい頃から変な競争心が生まれてくる。競争心は悪いことではないと思うが子どもが伸び伸びと育たないのでは。(50代 女性)
- ・人間には選択の自由、移動の自由の権利がある。(50代 男性)
- ・この3, 11でもはっきりしたことは、子ども達が地域で暮らすこと学校は地域のもので支える必要を持っている。この事からも地域に存在する校区へ通うことが望ましい。(60代 女性)
- ・私の住む地域の学区小学校は路地裏、線路下、人数も少ない、評判悪い、とても行かせたくありません。選べなくなるのであれば子どもの住民票をどこかに移動します。
- ・学区内で全員平等にすべきだ。選択しても一部の人が思うほど、学校は変わらない。(70代 男性)
- ・地域が活性化しない。(40代 女性)
- ・選べるから選んでしまっているのが現状ですよね。各校の良さから選ぶのは難しくよかったと思

いました。(30代 女性)

・自ら選んで(評判を聞いて)決めることで、教師の質や学校の取り組みなどが向上すると考えた為。(30代 男性)

・自らせんたくする校利は大人になってからで良い。子どものころは与えられた条件の中で一生懸命努力すればよい。(60代 男性)

・格差が広がる。(30代 男性)

・子どもが大きくなってから実家の周りに友人、知り合いがたくさんいるといいと思うから。(20代 女性)

・一校に片寄ったり、通学時間、危険性が高まると思う。(70代 女性)

・噂で選択するケースが多い。小学校くらいは地元で。交通事故、犯罪に繋がる。(60代 女性)

・現在でも選べない所もあるので、選べることで、良い事もあるのではと思う。10~15分で3~4ヶ所小学校があるので学校の特徴もあるので、反対ではない。(30代 男性)

・メリット、デメリット両方あり選べない。(40代 女性)

・ろくでもない理由で選ぶ人達が大半だと思うから。(20代 女性)

・明治の学制改革以降、公立の小学校は地元の人とのかかわりにつながってきたし、戦後の新制中学も地元の学校へ行って、それが成人してからも郷土の思い出として生きていたと思うのに、この数年簡単に勝手に一方的に選択制を押し付けられたのは本当に腹立たしいことです。責任者は誰でしょうと訪問したいです。(70代 女性)

・意味がない。遠方から来るのがわかっていてその対策がなされていない。随分とギリギリまで待機させられる。スムーズでないのならやる必要なし。(50代 女性)

・選択する判断は保護者がしますが、それはとにかく「風評」が可成幅を利かすものです。それぞれの学校の先生方の教育観、力量が父母、保護者に正しく伝えられるかどうか疑問です。(現在教育観の自由な話し合いの場があるのか。それが問題)(70代 女性)

・無闇に制限する必要なし。(20代 男性)

・小学校でいじめにあったとします。中学も学区で縛られたら同じ事が起きるから選択制は賛成です。(30代 女性)

・地域のつながりが損なわれる。(40代 女性)

・ただし、地域制限は?(70代 男性)

・実力に応じて選択の幅が広がる。(60代 男性)

・地域力が減退しないようにする為。(50代 男性)

・自由競争で良いではないか。(60代 男性)

・自分に見合った選択は良いこと背伸びはダメ。(60代 男性)

・私立学校も含めて色々と選択肢の幅があればよいと思います。(30代 女性)

・自由にはリスクがあることを理解する必要があると思う。選択は親が行っているのではないですか?子どもの心を傷つけているのは親だと思うのですが。これは制度の問題ではないと思います。(50代 男性)

・地域性を大事にした方が・・・。(30代 女性)

・自由な校風の所が良い。先生のパーソナリティーが明るい方が良い。(50代 女性)

・子どもが身近にいないので。(70代 女性)

・教員は教え方が全く面白くない。厳しいとかあると思う。体育の時間もよくケガをします。(50代 男性)

・選択肢が広がるのはいいと思うがそもそも小学ぐらいはどこの学校でも同じ教育が受けられるこ

とが基本では？同じ公立なのに差があつていいのか？（40代 男性）

- ・区民（国民）は自由に選択する権利がある。（60代 男性）
- ・公教育と放棄する愚策。姿形ばかり格好良くして内容がない。進めている若月が図に乗っている。あの態度をもし私の目の前でやられたら断じて許さない。また公立学校の教職にあるものが学校選択制を作ったような越境入学を平気でやっていることは極めて重大と思う。（60代 男性）
- ・自宅と学校が同じ町会にあるのに遠くの学校へいかせると交通キケン、家に帰っても近所の友だちがいなくなり外で遊ばなくTVゲームになる。「隣の芝生はよく見える」だけのこと、親のエゴ。実際のこと。（70代 男性）
- ・地域のつながりもわかるが学校毎に切磋琢磨し特色を出してアピールして行く事は良いと思う。また選択の自由も必要だと感じる。（30代 女性）
- ・親には学校を選ぶ規準がわかりません。子どもは近所の子同士近くの同じ学校に行くのが一番良いと思います。ちょっとした噂で近くの学校児童数が少なくなり、どんどん入学者が減って潰れてしまうのは問題だと思います。（60代 女性）
- ・行きたい学校に行かせてあげたい。（40代 女性）
- ・地域間格差、学校間格差が拡大する。教育は均等化平準化が好ましい。どの児童、生徒も地元の学校で等しく一定レベルの教育を受けられるべき（少なくとも小中学校は）。地元地域と学校の一体化。（60代 男性）
- ・地域のつながりを大切にしなければならないのに子どもにそれを否定するようなことをさせるべきではない。（60代 男性）
- ・どういう制度かがよくわからない。（30代 男性）
- ・地域密着性を失う。地元の子供も達で遊ぶことがなくなるため、少子化の折、子供達の叫び声が聞かれない。（70代 男性）
- ・選択制にしないと生徒の人数の多い少ないがなくなりますが、住む所が限られたり、通いたい小学校ですが住む所がない場合もあると思います。（40代 女性）
- ・カロリーとか色々考えてもらえらと思います。（80代 女性）
- ・もしやるのなら学区在りきは無くすべき。地区によってはインフラに差がありすぎる！（同じ税負担しているのに）（30代 男性）

自由な社会なのでは？（60代 女性）

- ・公立であれば生まれ育ったコミュニティーが重要視されるべき。私立とは根本的に違う。（50代 男性）
- ・大昔から公立校で超越境入学等で指定学校以外へ行っていた事例は多大あり。選択制を無くしたところで、希望は存在するし、金持ちやずる賢く立ち回ることがあるようでは不平等。（50代 男性）
- ・隣の子供もが別の学校に行くのは良くないと思う。（60代 男性）
- ・自分の住んでいる近い学校に通わせた方が近くに友だちも出来るし安全である。（70代 男性）
- ・その子にあった環境を考える事はプラスだと思う。（20代 女性）
- ・競争で切磋琢磨してよい点もあろうが、人間性が損なわれる方が大きいのではないかと思う。世界に伍して更に凌駕していくには競争で鍛えなければダメと言う意見もあるが、果たしてそれだけで良いものか。（70代 男性）
- ・子が望み勉強をやるためにはあつても良い。（70代 女性）
- ・地域との交流が無くなる。子どもを通じ10年以上の結びつき。（70代 男性）
- ・国で決めていただいたのが良いと思います。（90代 女性）

- ・確か大分前に八潮だかの中学で入学者ゼロになった（勘違いかも知れませんが）というのをみました。さすがにそこまで行くと問題だと思います。（40代 男性）
- ・地域差が広がる為ダメ。地域とのつながりが壊れる為だめ。（60代 男性）
- ・地域の学校で学ぶことが発達上望ましい。電車、バス通学は望ましくない。学校のリストラにつながる。（60代 男性）
- ・競争が激化し、成り立たない学校が出てくることを心配する可能性がある。（60代 男性）
- ・自分の希望する学校に行かせるべき→能力向上となる。（60代 男性）
- ・地域に根ざした教育が出来ないと思うので反対です。子どもは地域の大人たちの中で育てる環境が大切だと思います。（30代 女性）
- ・反対する理由が特にない。生徒確保のために各学校で競ってよい環境を作って欲しい。（30代 女性）
- ・いい学校、合う学校、合わない学校はある。例えばいじめられている子どもにとって、理想なのは学校を選んで変わることではないでしょうか？子どもにとって最良の形式を望みます。（30代 女性）
- ・今後の様子を見たい。（30代 女性）
- ・いい面、悪い面それぞれあると思う。（40代 女性）
- ・本人の意思を尊重して自由に決めればよい。（50代 男性）
- ・地域のつながりが弱くなるし、学校の先生も「特色のある学校づくり」と称して色々なことをしなければならなくなり、結果的に先生がきちんと子どもに向きあうとき、間がなく勉強の指導や生活指導、イジメ対応などができていない。（40代 女性）
- ・選択する必要なし！地域の学校に通学し、美化運動、防災訓練をするべき、自分の地域の人間に見守られながら、9年間を過ごした方がよいです。（50代 女性）
- ・学校の人数が多い所と少い所が出来てしまう。（60代 男性）
- ・良い面も、悪い面もあると思う。（30代 女性）
- ・公的資金で受けている教育なので、あえて好きな学校ではなく、地域のバランス等も考慮すべき。（50代 女性）
- ・品川区には、塾が少なく、レベルの高い小中一貫校がないので、そういうことにお金をかけてほしい。（30代 女性）
- ・選択制でなければ自とそこの学校に決まっているので、悩むこともないかもしれないが、選択できることによって入りたい学校を決められる、良い面もそうでない面もあるのでいちがいに言えない（50代）
- ・自分にとってbestの学校を選べる可能性があるから（20代 女性）
- ・格差ができることに心配はありますが、やめるタイミングも難しいと思います。（40代 女性）
- ・学校によって人数の差が出てしまう、遠く迄通うと危険も多くなる、隣近所に友達がなくなる（50代 女性）
- ・これは人のよって意見が分かれると思う、近所に友達がいても、いじめはおこるし、いなくてもおこるものだから、本人や家族の判断で選んでいるのだから、問題はない様に思う、選択できる幸せも有るかな・・・？（30代 女性）
- ・どちらかという反対です。どの学校に行っても同じレベルにしなければ、いけないと思います。そこが整えば、選択しなくても良いのかと。（40代 女性）
- ・特に義務教育はまず全体の教育内容を向上させるべきで、学校の差別化を、あおるような選択制

はよくない。(60代女性)

- ・学力に応じて学校を選ぶと良いと思います(60代女性)
- ・小中学校は地域で決められた学校に行く方が子供のためには良いと思う、うわさなどで学校の優劣を大人が決めるのはよくないと思う(70代 男性)
- ・学校に格差が生まれている。親のエゴで、遠い学校へ通っている子供もいる(30代 女性)
- ・学校格差ができる(60代 女性)
- ・地域性がなくなる、子供も親もバラバラになり、近所とのつながりは、ますます薄くなる、今いう絆は、どこえやらになるでしょう、70才すぎても友だちは、子どもの同級生の親と地域での役をした頃の友だちですから。(70代 男性)
- ・とうくまで学校に行かなくても近くでよい(70代 女性)
- ・学校間で風評や、うわさなどで、いたずらに混乱がおきている、また、遠いところからの登校は危ない(30代 男性)
- ・町、友がこわれる(70代 男性)
- ・選べるのは、例えばあきらかに A の学校の方が近くて、友達も多いのに、ギリギリ学区が切れているため B に行かないといけない等、(40代 女性)
- ・地域の学校に行った方が、近隣のお友達もでき、「この地域の子」として、大人の目もゆき届くのではないかと思います。・教師も競争することがなければ、少しは、ゆとりをもって子供に接することが、できるのではないかと考えます。(60代 女性)
- ・特になし。好きな学校へ行けば良い。ただし、学校を選ぶのではなく、勉強を選んで欲しい。(50代 男性)
- ・格差社会を招く(70代 男性)
- ・本人や親の自由であるべきと思うから、(30代 女性)
- ・いじめの問題や、特別支援教育に関わる人員体制など、選べた方が良い場合もあると思うので。ただし、選択制による格差の拡大は不安。(20代 女性)
- ・子どもを守り育てる地域の力が弱まってしまうと思うので。反対(50代 女性)
- ・選べるという自由を尊重(70代 男性)
- ・根拠のない評価で児童数に偏りが出る上、人数の多い学校の児童や保護者は、人数の少ない学校を下に見る傾向があります。偏見を持たせない体制は、子どもへの大切な指導の一つだと思います。又学校は地域に根付いたものであり、地域の子どもは地域で守り、育てていく者だと思います。放課後に近所で遊ぶ友達がいないということも問題だと思います。(40代 女性)
- ・どこでも自由だ選べるのも自由だ(50代 男性)
- ・少なくとも小学生は、地域の子どもは地域で育てる。地域の特徴や歴史的なことは地域で育ってこそ理解できる、そこから地域愛が育ち、人が育つ！(70代 女性)
- ・選択の自由は必要です、教育の自由はたとえオカルト教団にても適法とみなされるのですから。(60代 男性)
- ・想出も友情もなくなります。学校の校長、先生も3・4年で転校して行きます。地域の交わりも、喜びもうすいと思います。親どうしも、おつき合いがなくなると思います。(90代 女性)
- ・まだ始まって浅いので、わからない。(30代 女性)
- ・学校を中心に地域社会が作られてきたのに、結びつきがなくなり、それでなくても、つながるがうまくなっている地域コミュニティを壊すことになる。学校間で競争しあい、人気校とそうでない学校の格差が生じる。住んでいる地域の学校に普通に行き、親のねがい合える関係を守っていきたいですね。(60代 女性)

- ・少なくとも小学校は！学友を含む、地域とのつながりを大切に！（60代 男性）
- ・生徒数の多い学校と少ない、学校が出来てしまうと思うので。（30代 女性）
- ・現状をみれば分かる様に学校間の格差がある。そのため、子どもの人数に極端に差がうまれている。学校ごとに魅力をだすのは、いいが競争になっているのは、公立の学校として、義務教育の期間となっているのは違うと思う。また、「地域」という単位がこわれてきているのではと思う。やめている区もでてきている。区は、きちんと検証すべきである。（40代 男性）
- ・一律ではなく、ある程度、学校別に個性がある事は良い事であると思います。（40代 男性）
- ・子供の数が足りないのにバランスがくずれてしまう、あそこの学校は100人、あそこの学校50人とか競争している感じさえあります、子供達にはある程度の学年までは、湯つくりでいいのではないのでしょうか（60代 男性）
- ・地域の子どもの関係が崩れてしまうと思う。やはり、同じ街に住んで、同じ学校に通い地域の公園などで、放課後遊んだり・・・というのが、あたり前だと思う。特に小学校1年生の精神的負担は大きいと思う。親のエゴにしか思えない。（30代 女性）
- ・同じ市内でも学力や、生徒のタイプが学校単位で違うので希望できるようにしても言いと思う（20代 女性）
- ・地域愛をなくすだけです。（なし）
- ・子供なりに考える（将来）について（40代 女性）
- ・子育ても終り、自分の事で頭がいっぱいです。（50代 男性）
- ・行きたい所に行く、選べる権利はあると思う、根本的に格差が学校であるということが問題、（60代 女性）
- ・子供がいないのでわかりません（70代 女性）
- ・大人目線になりすぎなければ賛成（30代 女性）
- ・選んで入学したのなら不満が少ないだろうと思うので（30代 女性）
- ・親の意識と価値観が選択を決めるから（なし）
- ・（賛成）いじめなどがあるから（20代 女性）
- ・地域のつながりが薄れるのではないか（30代 男性）
- ・良いと思います（60代 男性）
- ・地域に悪影響だ、隣の家の子と学校が違うなんておかしいでしょう、以前より反対でした（80代女）
- ・はじめがなさすぎる様に思います。一つの段階を経て、次へ進む方が好果的だと思います。（60代女）
- ・各学校のカラーが出て良い。（30代 男性）
- ・公立学校での義務教育が地域中心に行われている以上、その地域の住民が納得し、支援できる中学校・小学校づくりをまず考えるべきなのではないか？学校力は総合的には、何なのか、目先の事だけでは分らない（70代 女性）
- ・子供自身が選ぶのであれば良いと思う。それについては、学校の情報、見学を親は子供にできるだけ多く機会をつくってあげるべき！親の選択ではなく、子供自身に決めさせる。（60代 女性）
- ・行きたい学校を選べばよい（30代 女性）
- ・自由に選択されていて良い様に見えますが・・・現実には片寄りがあり、父母の風評によるバラつきが顕著の様です、地域防災など学校との共同作業などでは子供等が地域から離れている為に地域意識がうすく連携に支障をきたしたりしています、地域に繁った活動は地域住民で組織するべきだと思うのです。（70代 男性）